

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築環境総合性能評価システムマニュアル2016 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サムティ名古屋市熱田区四番2丁目 新築工事	階数	地上15F
建設地	愛知県名古屋市長田区四番二丁目101番1,101番2	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	168 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年10月 予定	評価の実施日	2021年1月31日
敷地面積	1,312 m ²	作成者	
建築面積	534 m ²	確認日	2021年2月1日
延床面積	5,840 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>= BEE0.9 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.7

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア= 3.3	Q2のスコア= 2.9	Q3のスコア= 1.8
音環境: 3.3, 熱環境: 3.0, 光・視環境: 3.4, 空気質環境: 3.8	機能性: 3.1, 耐用性・信頼性: 2.9, 対応性・更新性: 2.6	生物環境: 1.0, まちなみ・景観: 2.0, 地域性・アメニティ: 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.0

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア= 3.0	LR2のスコア= 2.9	LR3のスコア= 3.0
建物外皮の熱負荷: 3.0, 自然エネルギー: 2.0, 設備システム効率化: 3.3, 効率的運用: 3.0	水資源保護: 3.0, 非再生材料の使用削減: 2.7, 汚染物質回避: 3.7	地球温暖化への配慮: 3.6, 地域環境への配慮: 2.4, 周辺環境への配慮: 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
LED照明を採用、節湯効果のある水栓を採用することで一次エネルギー消費量の結果を抑えています。	特になし。	
Q1 室内環境 F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用し、化学汚染物質による空気質汚染を回避しています。建具は遮音性T-2仕様のもを採用して、開口部遮音性能を確保しています。また、カーテン・庇(バルコニー)により昼光制御にも努めて	Q2 サービス性能 給排水配管は更新必要間隔の長い配管を使用しており、維持管理しやすい設計としています。	Q3 室外環境(敷地内) 空地率59%です。
LR1 エネルギー 特になし。	LR2 資源・マテリアル 解体時にリサイクルを促進する対策として、躯体と仕上げ材が容易に分別できる材料を使用しています。ノンフロン断熱材を採用しています。(吹付ウレタンA種1H)	LR3 敷地外環境 屋外に漏れる光を点滅させたり、着色したりしないことから、外に漏れる光への対策が取れています。また広告物照明を設けません。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される




重点項目スコア・結果シート

(仮称)サムティ名古屋市熱田区四番2丁目 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
 ■評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v1.0)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策				3.1
LR1	エネルギー	3.1	0.4	/
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.6	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				1.6
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	/
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				2.8
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	/
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.5	0.016666667	

結果

1. 温暖化対策	評価点 = 3.1	
2. 自然共生	評価点 = 1.6	
3. 循環型社会	評価点 = 2.8	

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。